審議会等の会議結果報告

１　会議名	令和５年度第１回津市スポーツ推進審議会
２　開催日時	令和５年６月２９日（木） 午後２時から午後３時３０分まで
３　開催場所	サオリーナ　控室
４　出席した者の氏名	（津市スポーツ推進審議会委員） 後藤洋子、乙部満生、松本忠靖、海津行正、鈴木寿子、庄山昭子、向井潔、森川幸則、家城覚、市野泰地、田坂稔 （事務局） スポーツ文化振興部長　木村重好 スポーツ文化振興部次長　川合毅 スポーツ振興課長　奥村昌弘 スポーツ振興課調整・企画管理・事業担当主幹（兼）企画員　梅本洋平 スポーツ振興課企画管理･事業担当副主幹　藤川知樹 スポーツ振興課企画管理･事業担当副主幹　髙橋純也 スポーツ振興課主査　坂口友介
５　内容	令和５年度のスポーツ振興関連事業の概要について 津市スポーツ振興基金の活用状況について 津市スポーツ施設整備計画について
６　公開又は非公開	公開
７　傍聴者の数	０人
８　担当	スポーツ文化振興部スポーツ振興課企画管理・事業担当 電話番号　０５９－２２９－３２５４ Ｅ-mail　229-3254@city.tsu.lg.jp

議事の内容　　別紙のとおり

＜事務局＞	・開会宣言 ・会議の成立を報告 　出席者１１名、欠席者２名、委員の過半数の出席のため、津市スポーツ推進審議会条例第６条第２項の規定により成立 ・事務局紹介 ・津市スポーツ推進審議会条例第６条第１項の規定により会長が議長となることを説明し、議事進行を会長に依頼
後藤会長	・令和５年度のスポーツ振興関連事業の概要について（議事（１））、事務局へ説明を依頼
＜事務局＞	（資料に基づき説明） ・令和５年度のスポーツ振興関連事業の概要について説明 津市総合計画に基づき、４つのスポーツ振興施策を推進 ①スポーツ・レクリエーションの裾野拡大、②競技力の向上、③スポーツ施設の計画的な整備、④スポーツ施設の効率的、効果的な運営 令和５年度予算 スポーツ振興事業、運動施設管理運営事業、運動施設整備事業、産業・スポーツセンター事業
後藤会長	質疑なし ・津市スポーツ振興基金の活用状況について（議事（２））、事務局へ説明を依頼
＜事務局＞	（資料に基づき説明） 「①競技団体の活動を支える」、「②パラスポーツの活動を支える」、「③日常のスポーツライフを支える」の３本柱で、市内競技団体の活動支援などスポーツ振興に取り組む 令和４年度実績 ①競技団体の活動支援 　競技スポーツ振興事業補助金　18 団体　交付実績額 12,821 千円 　津市スポーツ大会出場報奨金　　355 件　交付実績額 8,090 千円 ②　パラスポーツの活動支援 　パラスポーツ振興事業補助金　　2 団体　交付実績額 992 千円 ③　日常のスポーツライフの支援 　44 件　基金活用修繕実績額 20,000 千円 令和５年度予定 ①競技団体の活動支援 　事業採択 23 団体　予算額 15,000 千円 　津市スポーツ大会出場報奨金　予算額 13,000 千円 ②　パラスポーツの活動支援 　事業採択 2 団体　予算額 2,000 千円 ③　日常のスポーツライフの支援 　基金活用修繕　　予算額 20,000 千円

後藤会長	スポーツ振興基金の活用状況を踏まえ、使い切れなかった予算は今後どうするのかについて質問あり
＜事務局＞	・事務局より以下のとおり回答 スポーツ振興基金は令和４年度から令和８年度の５年間で、２億５，０００万円を予算措置している。 基金設立当初は競技スポーツの振興に２，８００万円、パラスポーツの振興に２００万円、生涯スポーツの振興（施設修繕）に２，０００万円　計５，０００万円／年としているが、令和４年度に使いきれなかった予算については、令和５年度以降で年度間の流用や事業間の流用を踏まえ、検討していく。
田坂委員	本基金について、三重とこわか国体、三重とこわか大会の中止を受けて設立された基金であるので、国体種目の強化等の活用を検討いただきたい。
＜事務局＞	・事務局より以下のとおり回答 本基金は、スポーツ振興のために設立しており、競技者への支援だけでなく、競技を行うには施設が必要であり、利用に支障がないよう基金を活用して競技面に関する施設修繕するなど幅広く活用していく。なお、競技面以外の点については別途予算を確保している。ソフトの部分についても意見を聞きながら進めていく。
田坂委員	（上記事務局回答を踏まえて） 令和８年度までの基金であるが、基金終了後もスポーツ活動への支援をお願いしたい。
後藤会長	・津市スポーツ施設整備計画について（議事（３））、事務局へ説明を依頼 （資料に基づき説明） スポーツ施設整備計画策定までの経過について説明 ・令和２年９月１４日 令和２年度第２回津市スポーツ推進審議会（（仮称）津市スポーツ施設整備計画策定について諮問） ・令和４年７月２９日 （仮称）津市スポーツ施設整備計画（案）　答申 ・令和４年１２月 津市スポーツ施設整備計画策定 当該計画に基づく今後の施設整備予定について説明 ・体育館アリーナ等空調整備事業 久居体育館、芸濃総合文化センター内アリーナ、安濃中央総合公園内体育館、一志体育館の４体育館について、サオリーナの補完体育館及び地域のスポーツ拠点施設として、空調設備の整備を実施 ・海浜公園内陸上競技場改修事業 市レベルの陸上競技の大会や記録会が開催可能な公認陸上競技場として、また多目的なスポーツが実施できるフィールドを備えた施設として

必要な整備を実施

市野委員
海浜公園陸上競技場の改修について、市レベルの大会とあるが、県レベルの大会は開催できないのか。また、公認はどのレベルを検討しているか。

＜事務局＞
整備内容は基本設計において検討していくことになるため、現時点では確定したことではないが、平成元年に設置した海浜公園内陸上競技場は平成15年まで3種公認を取得していたので、3種公認を検討していきたいと考えている。

庄山委員
海浜公園陸上競技場の改修について、現状、小中学生は陸上の公認記録を取得しようとすると伊勢市の陸上競技場まで行っているのが現状である。
高校生や社会人は公認記録を取得できないのか。

＜事務局＞
公認の記録を取得するためには、日本陸上競技連盟に登録した競技者、審判員、競技場など条件が揃うことが必要であり、小中学生に限るものではない。

松本委員
（上記事務局回答を踏まえて）
競技場が整備されたとして、津市で審判員はいるのか。

＜事務局＞
県内に各地区に審判員がおり、大会等は津市の審判員に声かけをするが、不足する場合は、鈴鹿市や松阪市、亀山市など横のつながりでカバーすることも可能である。

田坂委員
海浜陸上競技場は津駅から徒歩では遠く、路線バスも無くなったので交通面に課題があるので、その点についても検討をお願いしたい。
また、海が近いので、災害が心配とも思うので、災害が来た際には例えばスタンド棟に避難できるようなことも検討いただきたい。

＜事務局＞
基本設計の中で検討したい。

乙部委員
海浜公園陸上競技場の整備にあたって、予算を検討する際は、競技物品をどこまで揃えるのか、どういった改修を行うのか十分に検討いただきたい。

＜事務局＞
公認陸上競技場として整備を行うには、必要な備品や競技面の整備は必須である。そのうえで付帯設備である器具庫などについても検討する必要があり、事前の競技団体への聞き取りの中では、「器具庫が狭小である」、「役員室がない」などの意見も聞いているので、今後もご利用団体の声も聞いて基本設計の中で検討していきたい。
また、陸上競技のほか、サッカー、ラグビーなどの利用者がいること、外構にはランニングロードを利用される方もいるのでそれらを含めて、陸上競技場の在り方を検討していく。

後藤会長
他に意見はありませんか。
（意見なし）

以上で本日の議事は全て終了いたします。
円滑な進行ありがとうございました。
それでは、進行を事務局の方に戻したいと思います。

＜事務局＞
皆さん、本日はどうもありがとうございました。
スポーツ振興課の事業概要や進捗状況をご説明いたしましたが、これから、補正予算が可決されましたら、施設整備を進めていく格好になります。引き続き、これらの事業の進捗状況についてはご報告させていただきます。

本日はどうもありがとうございました。
それでは、これにて令和５年度第１回津市スポーツ推進審議会を終了いたします。